



令和6年度 赤羽地区地域円卓会議 概要

■日時：令和7年3月4日（火） 午後7時00分～午後8時30分

■場所：赤羽会館小ホール

■参加団体：赤羽管内連合自治会、赤羽商店街連合会、地域リサイクラー、清掃協力会、民生委員・児童委員、赤羽高齢者あんしんセンター、赤羽南長寿会、赤羽岩淵中学校PTA、青少年赤羽地区委員会、赤羽消防団（第五分団）、赤羽健康支援センター

■会議概要：「地域の防災活動」をテーマとして、北区（地域防災担当課）の協力を得て、今後策定する「地区防災計画」について講和をいただき、参加団体による地域の防災に関する意見・情報・感想の交換を行った。

1. 開会挨拶 赤羽管内連合自治会会長挨拶

2. 地域円卓会議について

事務局から地域円卓会議の趣旨等について説明

3. 地域課題の情報共有（地域の防災活動）

（1）北区地域防災担当課による講和

『赤羽地区において令和7年度以降策定予定の「地区防災計画」について』

「地区防災計画」は、地域の「共助」の実効性を高めることを目的とした計画であり、区が実施する計画の策定支援事業では、地震に焦点をあて、主に

- ・地区の現状（地理的な特徴や被害想定、危険箇所等）
- ・地区内の防災関係施設（避難所、防災倉庫、自治会管理の施設等）
- ・地震発生時の避難方法
- ・発災時の防災活動
- ・平常時の防災活動

について、地域の方と一緒に検討し、計画書に整理していくという説明があった。また、「地区防災計画」を策定する際には、地域の団体の皆様に参加いただくワークショップを実施していくという説明があった。

（２）自己紹介・意見交換（主な意見）

- ・震災時と水害時では避難所が違うということを周知していくことが重要。
水害時の高台避難については、多くの方ができる限り安全に避難できる経路となるように努めているが、どうしても坂を上らなくてならず、坂を上げるのに不安がある方の避難方法に苦慮している。
- ・地域の方々とどのように協力できるのかということが未知数である。このように場で一緒に考えさせてもらえればと思う。
- ・地域のでお互い助け合える計画を作ることはいいことである。ただし、計画を作るだけでなく、実行力を伴うものとするよう周知を徹底してくことが大事である。
- ・子どもたちについて、学校内の防災意識については学校の授業等で行っているので、学校以外にいるときの防災に関する心構えについて育成していきたい。
- ・地域の団体がこういった役割を担っていくのかというのを日ごろから考えて準備していくことが重要だと思う。阪神・淡路大地震の際、なくなる方がいない地域があった。その地域は、日頃から顔が見える関係づくりをしていて安否確認もできる地域だった。昨今個人情報に関係もあり難しいことだとは思いますが、日頃から顔が見える関係づくりをいろいろな切り口で関係を作っていければと思う。
- ・地区防災計画を作るのも大事だが、そのことを地域で話し合っていくことそのものが大事だと思う。

4. その他（抜粋）

- ・区における災害時の情報の収集方法について
⇒区の災害対策本部・地区本部の活動、防災アプリについて説明。

5. 閉会挨拶 赤羽管内連合自治会会長挨拶

